

75DB

家庭用品品質表示法に基づく表示

外形寸法 幅 754 x 奥行き 550 x 高さ 740 mm

表面材 プリント紙化粧板

表面加工 _____

- 取扱上の注意**
- イ. 直射日光または熱を避けて下さい。
 - ロ. 加熱したなべ、湯沸し等を直接置かないで下さい。
 - ハ. 著しい汚れをとる場合は、薄めた中性洗剤を使用して下さい。

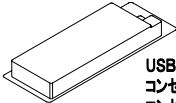
製造元:小島工芸 株式会社
03-3674-2251

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読み頂き、正しくお使いください。

製品を未永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために「安全上のご注意」と「取扱い上のご注意」、別添の「使用上のご注意」を必ずお守りください。

取扱い説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように大切に保管してください。

● 付属部品	
	USBポート付き コンセントボックス×1 コンセントボックス内同梱 取付ネジ×2 樹脂ワッシャー×2
	棚板×1 金ダボ×6

安全上のご注意(必ずお守りください。)

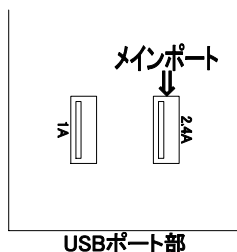
表示内容を見逃して誤った使い方をすると、人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険です。以下のことを必ずお守りください。

USBポート付きコンセントボックスの取り付け作業は、**必ず大人の方が慎重**に行ってください。製品に傷をつけたり、コンセントを破損する事があります。

USBポート付きコンセントボックスは上棚Uタイプ(別売)の本体左内側の下穴があいている場所以外の場所には固定しないでください。デスクへの固定は行わず、コード溜まりをご利用ください。

USBポート付きコンセントボックスは合計1,400W(ワット)以下でお使いください。
 USBポート付きコンセントボックスのUSBポートの合計3.4A以下でご使用ください。
 機器によっては2台同時充電ができない場合があります。その場合はメインのみをご使用ください。(右図参照)

また、機種により対応できないものもあります。必ず接続される機器の取扱説明書に従ってください。



～ ご注意 ～

USBポート付きコンセントボックスのご使用はパッケージ裏の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、ご使用ください。安全上のご注意をお守りいただけない場合、火災や感電の恐れがあります。

安全上のご注意(必ずお守りください。)

表示内容を無視して誤った使い方をすると、人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険です。以下のことを必ずお守りください。

スライドトレイをご使用にならない場合は必ずトレイを収納してください。

接触した場合に思わぬケガをしたり、転倒させてケガをしたり、床、壁等や製品に傷を付けたり、破損したりする事があります。

スライドトレイ及び引き出しの開閉には十分にご注意ください。

手をはさんで思わぬケガをする事があります。

取扱い上のご注意

警告 火災などによる人身事故にご注意ください。

暖房器具の前など高温な場所で使わないでください。

お客様自身で修理・改造はしないでください。

USB ポート付コンセントボックスは合計 1,400W(ワット)以下でお使いください。

USB ポート付コンセントボックスの USB ポートの合計は 3.4A(アンペア)です。

機器によっては 2 台同時に充電できない場合があります。

また、機種により対応できないものもあります。必ず接続される機器の取扱説明書に従ってください。

USB ポート付コンセントボックスの使用はパッケージ裏の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、ご使用ください。

安全上のご注意をお守りいただけない場合、火災や感電の恐れがあります。

机やワゴンの上に乗らないでください。(転倒してケガの原因)

デスクのスライドトレイやワゴンの引出を最後まで引き出したまま、引出に手をかけないでください。

(転倒してケガの原因)

注意 安全と製品保護のため正しくお取扱いください。

デスクの据え付け及び移動をするときは、床を引きずらないで必ずお二人で持ち上げて行ってください。

(床をキズつける原因)

ワゴンの前輪キャスターにはストッパー機能がついています。

ワゴンの移動をやめたいときはストッパーボタンを下げてください。

お願い 製品を未永くご使用いただくために、以下のことについてお守りください。

机の上に熱いものをのせないでください。(コゲつき・変色の原因)

直射日光のあたるところ、温度の高いところ、湿気の多いところでは使用しないでください。

(反り・割れ・変色・カビの原因)

製品にシールやセロハンテープ等を貼り付けしないでください。(表面材がはがれる原因)

シンナー・ベンジン等を吹き付けしないでください。

お手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。汚れのひどいときは、中性洗剤をうすめた液が石けん水に布を浸し、よく絞ってから拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

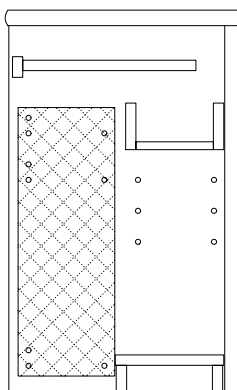
可動棚板の固定方法

デスク DA・DB 各タイプのデスクは使い方に合せて可動棚の位置が変えられます。

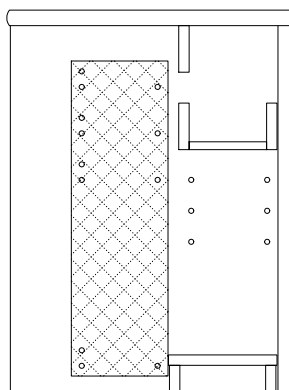
デスク DA タイプは前列 3 段・後列 3 段。デスク DB タイプは前列 4 段・後列 3 段に設置が可能です。

デスク DA・DB 共に前列に設置される場合は可動棚を設置後、不用意な落下を防ぐ為「脱落防止用」として押え用の金ダボを左右 1 ヶずつセットしてご使用願います。

(下図の網掛け位置に設置される場合は「脱落防止」を行ってください。)

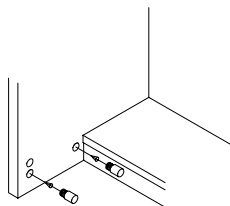


DAタイプ



DBタイプ

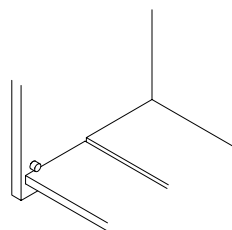
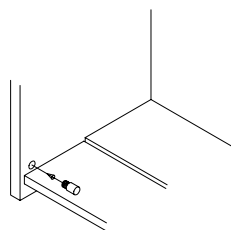
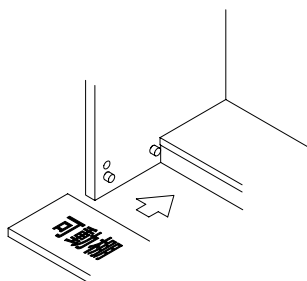
可動棚を設置する所の両側に金ダボをセットします。(左右各 2ヶ所ずつ)



金ダボをセットした位置に可動棚を設置します。

可動棚を設置し、ガタツキが無い事を確認してください。

ガタツキがない事を確認したら、押え用の金ダボを左右 1 ヶずつセットすれば完了です。



スライドトレイ 収納の方法

スライドトレイは、完全に引出した状態で保持される構造になっております。
スライドトレイを収納する際には、少し強めにトレイを押し込む事により、収納が可能です。

スライドトレイ ストッパー解除の方法

ご使用中、トレイの出し入れが重いと感じられる様な事がありましたら、下記の要領にてストッパー機能を解除する事により解消する事ができます。(ストッパー機能の解除につきましては、片側のみでも有効です。)

～安全上のご注意～

スライドトレイのスライドレールは構造が複雑でスライドトレイを外してしまうと再度収納する際に、スライドトレイやレールに手や指を挟んでケガをしたり、本体を転倒させてケガをしたり、床、壁等や製品を傷つけたり、スライドトレイやレールを破損すると危険です。スライドトレイは外さないままで作業を行ってください。

作業を行う際はスライドトレイの上のものは、全て取り除いてください。

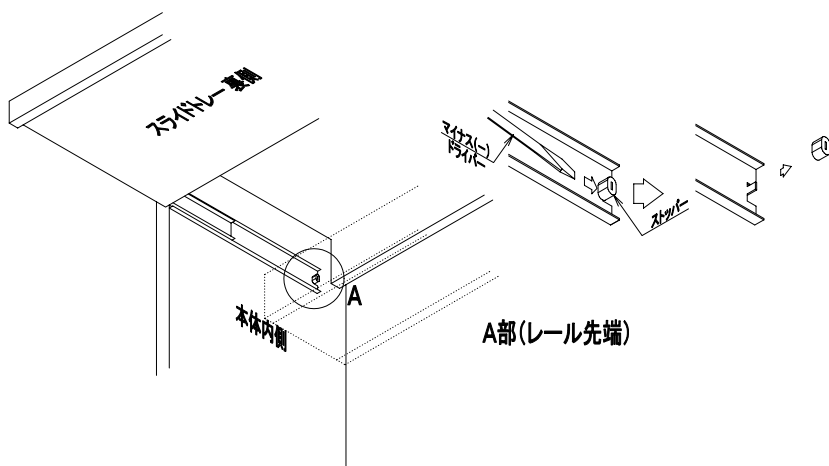
トレイを引出した状態のまま、手を掛けたり、上に乗ったり、手をついたりしないでください。

本体を転倒させてケガをしたり、床、壁等や製品を傷つけたり、スライドトレイやレールを破損すると危険ですので十分注意をして行ってください。

作業する際には頭上に注意し、トレイ等で頭をぶつけないように十分に注意してください。

スライドトレイを全開にして本体内側左右に付いているスライドレールの後部(奥)にある「ストッパー(ゴム)」の根元に図の様にマイナス(-)ドライバー等を差し込んで外してください。この時、ケガをしたり製品にキズをつけたりしない様、慎重に行ってください。

片側のみでの取外しても解消できない場合は、両側のストッパーを同じ要領にて取外してください。



コンセントボックスの掛け方

本体に開いているコンセントボックス固定用下穴に付属のネジへ付属の樹脂製ワッシャーの向きに注意して、右画像の様に通し、プラス(+)ドライバーでネジを締め付けます。

締め付けは樹脂製ワッシャーが動かなくなるまで締めて下さい。

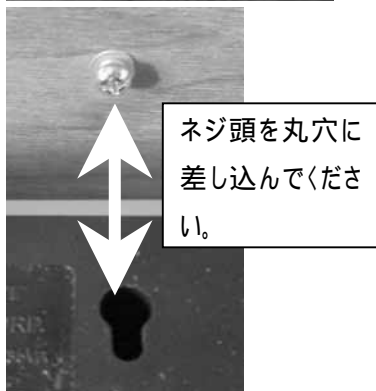
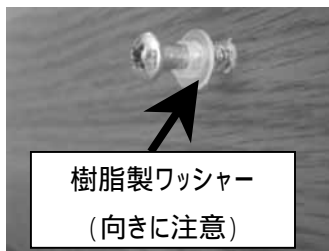
この時、樹脂製ワッシャーをつぶさない様に締めて下さい。(右画像参照)

～注意～

ネジを締めすぎて樹脂製ワッシャーを潰してしまうと、コンセントボックスを固定する事ができなくなります。

コンセントボックスの裏側に開いている「フック掛け用の穴(丸い部分)」2ヶ所をねじ込んだネジ頭に合わせ、穴に差し込みます。

(右・下の画像参照)



差し込んだらコンセントボックスを下へスライドさせて完了となります。

下の画像をご参照下さい。



スイッチが上になる向きになる状態でコンセントボックスを固定することができますが、スイッチが下になる向きではコンセントボックスを固定することができません。

この向きでのご使用はなさないでください。

～注意～

・コンセントボックスは「フック掛け用の穴」にネジ頭を差込み、上記のようにスライドさせることでネジ頭がフック掛け用の穴に掛かり、外れにくくなります。必ずスライドをさせてください。

USBポート付きコンセントボックスの使用はパッケージ裏の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、ご使用ください。